



第 155 号

平成 24 年 2 月 1 日

小松市史編纂事務局

へんさんしつ便り

2月4日は『立春』。大寒（今年は1月21日）からこの頃までが一年で最も寒い時期とされています。早く春にならないかあ、と心底思ってしまうのですが立春は春の訪れの日でもあります！この日を過ぎると少しずつ寒さが和らぎ、暖かい地域では梅の花が咲き始めます。石川県の梅の開花は3月中旬～下旬頃でまだ少し先ですが、ゆっくりと北上してくる開花前線、春の足音に耳を澄ませながら過ごせば長い冬も楽しいのではないのでしょうか。

また、立春は旧暦のお正月です。前日の節分は大晦日にあたりますので、豆まきをして一年の無病息災を願いましょう❀1月のお正月が慌ただしく過ぎてしまった方も心機一転、ここから新たにスタートです！

立春大吉

“立春には何をしても大吉だ”という意味のこの言葉、とても縁起がいいですね。「立春大吉」の護符は曹洞宗のお寺の門に貼られることで知られていますが皆さんのご家庭ではいかがですか？厄除けとしてお札を貼っていらっしゃるかもしれませんね。でもどうして厄除けに良いとされるのでしょうか。この言葉は縦書きにすると左右対称なので裏から見ても同じように“立春大吉”と読めます。これを玄関に貼っておくと鬼が家に入ってきたとき、振り返ってお札を見たらやはり「立春大吉」と読めるので、すでに家に入っているにも関わらず“あれっ、この家にはまだ入ってなかったかなあ…？”と勘違いをして家の中から外に逆戻りしてしまうのです！こうして見事に鬼を追い払う事ができるのですが、何だか微笑ましいやり方ですね。鬼に象徴される厄や好ましくない事にもこんな遊び心を持って対応できたら良いなあと思います。

立春大吉のお札は自分で書いても効果があるので皆さんも作ってみてはいかがでしょうか。ポイントは出来るだけ左右対称に書くこと、貼る場所は玄関が良いとのことですよ。

市史講座の資料残っています。

昨年度や過去に使用した資料の残部があります。

ご興味のある方はお気軽に市史編纂事務局へいらしてください。

ご希望の資料お渡しいたします！

⇒ 小松天満宮の梅



平安時代末期の小松 その一

平成 24 年度 NHK 大河ドラマ『平清盛』、皆さんはご覧になっていますか。清盛が活躍した平安末期、小松にはどのような人物がいたのでしょうか。また、どのような事があったのでしょうか。平家や京の都との関わりがあった事を中心にまとめてみました。（※平安時代：794年～1185/1192年頃）

【仏御前】1160年～1180年《「平家物語」第一巻「祇王」に登場》

平清盛に寵愛された白拍子（歌舞を演じる女性）。平治 2 年（1160）加賀国原村（現小松市原町）に生まれ、幼いころから信心深かったため“仏”と呼ばれました。京都に行き白拍子となり、平清盛の前で歌や舞を披露したところ大変気に入られ寵愛を受けるようになります。しかし世の無常、栄華のむなしさを感じ 17 歳で出家。その後故郷の原村に帰り、21 歳の若さで生涯を終えました。☞裏面に続く

平安末期の小松 その一 続き

【安元事件】1176年～1177年《「平家物語」、「源平盛衰記」に登場》

安元2年(1176)加賀の国司が藤原師高もろたかだった頃、弟・師経もろつねが目代(国司の代理)として白山中宮八院の涌泉寺(現小松市遊泉寺町付近)に立ち入り検査に行きました。その時、師経は寺院の神聖な場所である湯屋に押し入り馬まで洗い始めたことから寺僧の怒りをかい乱闘に。あまりの攻撃に師経達はいったん引き揚げますがよほど悔しかったのか後日、涌泉寺を焼き討ちにしています。この事により白山中宮三社八院の衆徒が結集、師経がいる国衙を襲撃しました。しかし師経らは京に逃げています。怒りのおさまらない衆徒は神輿を担いで京に上り、本寺延暦寺に支援を求めました。そして延暦寺主導のもと後白河上皇に強訴。師高・師経の流罪が決定しました。(『中宮八院の成立と安元事件』は図説「こまつの歴史」P30、31にも記載されています。)

❖いかがでしたか?小松でも都に影響を及ぼすようなことが起きていたんですね。その二は次回掲載予定です☆

既刊の新修小松市史

- ・第一巻「小松城」
- ・第二巻「小松町と安宅町」 完売
- ・第三巻「九谷焼と小松瓦」 完売
- ・第四巻「国府と荘園」
- ・第五巻「曳山」
- ・第六巻「水運」
- ・第七巻「文芸」
- ・第八巻「幕領」
- ・第九巻「寺社」
- ・第十巻「図説こまつの歴史」

1～9巻は定価5,000円、10巻は並製本が定価3,000円、上製本(ハードカバー入り)が定価4,000円です。価格は全て税込みです。小松市史には大変貴重な資料がたくさん掲載されています。ぜひお手にとってご覧下さい❖市史講座の予習・復習にもおすすめです♪

【購入方法】

市史編纂事務局へ直接お越しいただくか電話、はがき、またはFAX、メールにてお申し込みください(郵送をご希望の方は送料が必要です)市史の目次は市史編纂担当のホームページにも記載しておりますのでぜひご覧ください(^-^)



<2月のカレンダー>



日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29			

■ は小松市史事務局の休室日、□付 は小松市立図書館の休館日です。

小松市史編纂事務局 (小松市立図書館2階)

- ・住所 〒923-0903 小松市丸の内公園町19
- ・TEL 0761(24)5315 / FAX 0761(22)9763
- ・URL <http://www.city.komatsu.lg.jp/shishihensan/index.html>
- ・E-mail hensansitu@city.komatsu.lg.jp
- ・休室日 日曜日/月曜日/祝日の翌日

